

概要

別名羽山獄と言う。その山頂下に、現在小さな祠（羽山神社）が建っている。それは崇敬者が天保三年に建立したものである。それ以前からこの神社は、小島の人々から羽山様と崇められている。

昔から、小島地区の象徴としている山で、小島の中島からの道が本木戸であるが、田代に向かう道から登る道も整備されていて、一番標高差が少なく登ることができ。最近、中島から袴野へ抜ける林道が完成したが、一般車は通行できないので、歩き通すとさらにバリエーションが広がる。

山頂には、三等三角点がある。

登山行程

表参道〔中島から山頂へ〕

国道三四九号線の小島中島から東に伸びる保安林道がある。五百メートルほど舗装道路を進むと一般車両が進入できないゲートがある。ここから徒歩で七百メートルほど進んだ途中

の法面のうえには、「ササゲ石」と言われる大きな石が小さい石の上に載っている。また、その先三百メートルの沢は「箸取め」と言われる沢がある。この沢の五十メートルほど進んだ所に階段があり、その上部には羽山神社の鳥居が建っている。鳥居をくぐりししばらくなだらかな尾根を進むと、奇岩が目につき、道は険しくなってくる。このあたり「いぶし岩」と言われる岩がある。昔、たぬきの住んでいる岩の前で青葉を燃やしたぬきをいぶり出した



羽山神社